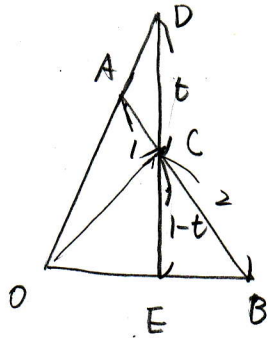


$\triangle OAB$ において、辺 AB を $1:2$ に内分する点を C とし、辺 OA の延長線上に点 D をとり、 $\vec{OD} = x\vec{OA}$ (ただし $x > 1$) とする。2点 C, D を通る直線と辺 OB が交わる点を E とする。ここで、 $\vec{OE} = y\vec{OB}$ とし、点 C は線分 DE を $t:(1-t)$ に内分しているものとする (ただし、 $0 < t < 1$)。

- (1) x, y を t で表わせ。
- (2) $\triangle OAB$ の面積を 1 とするとき、 $\triangle ODE$ の面積を t で表わせ。また、 $\triangle ODE$ の面積の最小値と、そのときの t の値を求めよ。

(1)



[東京海洋大]

$$\vec{OC} = \frac{2}{3}\vec{OA} + \frac{1}{3}\vec{OB} \quad \text{①}$$

$$\begin{aligned} \vec{OC} &= t\vec{OE} + (1-t)\vec{OD} \\ &= yt\vec{OB} + x(1-t)\vec{OA} \quad \text{②} \end{aligned}$$

①②より

$$\frac{2}{3}\vec{OA} + \frac{1}{3}\vec{OB} = x(1-t)\vec{OA} + yt\vec{OB}$$

係数比較より $\frac{2}{3} = x(1-t), \frac{1}{3} = yt$ であるから

$$x = \frac{2}{3(1-t)}, \quad y = \frac{1}{3t}$$

(2)

$$\triangle ODE = xy \triangle OAB$$

$$= \frac{2}{9t(1-t)}$$

ここで分母が最大のとき面積は最小になるから

$$9t(1-t) = -9\left(t - \frac{1}{2}\right)^2 + \frac{9}{4}$$

∴ $t = \frac{1}{2}$ のとき最大値 $\frac{9}{4}$ ととり

従って面積の最小値はこのとき

$$\frac{2}{\frac{9}{4}} = \frac{8}{9}$$

$$t = \frac{1}{2} \text{ のとき最小値 } \frac{8}{9}$$